

新城市 孤立可能性集落対策事業(ヘリポート建設)

団体情報

人口 48,951人(H27.4.1時点)

愛知県の南東部に位置し、静岡県と県境を接しているほか、県内2番目となる499.23km²を有する。市域の84%は、三河山間部を形成する豊かな緑に覆われ、「三河の嵐山」とも呼ばれる桜淵公園や、国の名勝に指定されている鳳来寺山など、市域に広がる特徴ある地形や豊かな植生、美しい景観が、訪れる人を魅了して止まない。



事業について

事業名 孤立可能性集落対策事業(巣山ヘリポート)

総事業費 6,627千円

(うち財政融資資金) 5,000千円

事業内容

市域の多くが山間部である同市では、災害発生時に孤立する可能性のある集落が点在している。

このため、同市ではこうした集落にヘリポートを整備し、災害発生時に孤立した際の物資搬送や傷病者搬送に対応する態勢を整えている。



ヘリポートを使用した傷病者の搬送イメージ(※紹介した事業のヘリポート現地とは異なります。)

事業による効果

ヘリポートの整備により、同市の孤立可能性集落に対する災害対応手段が増えることで、近隣住民へ安心感を与えている。

また、災害時のほか、ドクターヘリの離着陸場としても使用可能であり、医療機関への早期搬送により、傷病者の社会復帰に大きな効果をもたらすことが期待できる。



巣山ヘリポート・休耕田を利用して建設されており、旧鳳来町の秋葉巣山、七郷一色地区をカバーする。